

ワイヤレス力/加速度センサ GDX-FOR (Go Direct)

Cat. No. E31-8200-06



このたびはナリカ製品をご購入いただきありがとうございます。

本製品を正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

また、この説明書は必要な際に閲覧できるように保管をしてください。

内容

安全上の注意	2
警告 死亡、又は重傷を負う可能性がある内容	2
注意 軽傷を負う、又は物的損壊の可能性のある内容	2
はじめに	3
本製品の目的と特徴	3
製品仕様等	3
各部名称	3
製品仕様	3
センサの種類	4
使い方	5
操作手順	5
センサの接続と充電	5
2.実験時の操作	6
3.実験後の操作	6
4.その他の操作	6
5.保管方法	7
困ったとき	8
故障かな？と思ったら	8

安全上の注意



警告 死亡、又は重傷を負う可能性がある内容

- 分解・修理・改造を行わないでください。火災・感電及び製品の破損等の可能性があります。
- 水をかけたり、濡れた状態で使わないでください。ショートや感電の可能性があります。
- スリットなどから針金等の異物を差し込まないでください。感電や破損の可能性があります。
- 異常・故障を感じたときは使用しないでください。
修理等に関しては弊社販売店又は本書に記載されたサポートセンターまでお問い合わせください。
- 実験を行う前に必ず指導者から生徒・児童に向けて操作方法等の説明を行ってください。



注意 軽傷を負う、又は物的損壊の可能性がある内容

- 実験の際は必ず指導者が立会い、生徒・児童のみで使用させないでください。
- 落下や強い衝撃を与えないでください。
- 上から無理な力が加わった場合、本体、車輪に負荷がかかり破損する可能性があります。
- 長期保管の前後には製品の状態を確認し、異常が見られた場合は使用を中止してください。
- 防水ではありませんので、絶対に水に浸けないでください。水が入ってしまった場合は、電源ボタンを3秒以上押し続けて電源を切り、バッテリーを外して乾燥させてください。

はじめに

本製品の目的と特徴

Go Direct シリーズのワイヤレスセンサは Bluetooth または USB でタブレット・スマートフォン・デスクトップパソコン・ノートパソコンなどの端末と直接接続できます。

Go Direct 力/加速度センサは、力、加速度、角速度を測定できるセンサです。力センサは $\pm 50\text{N}$ の押す力、引く力の測定ができます。加速度、角速度センサは3軸の測定ができます。作用反作用の法則の実験や回転運動の実験で使用できます。

主な実験

- 作用反作用の実験
- 回転運動の実験
- 二台の台車の衝突実験

この製品を使用するには専用ソフト「Graphical Analysis」をインストールした端末が別途必要です。Graphical Analysis ソフトウェアのインストールについては弊社カタログまたはウェブサイトをご参照ください。

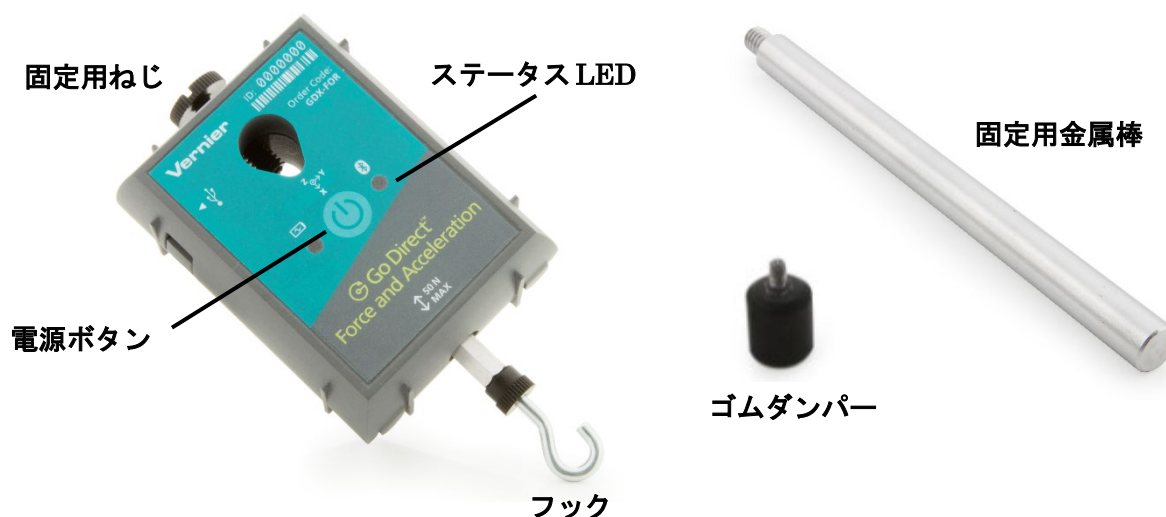
- ソフトウェアインストールについて <https://www.rika.com/go-direct/software>



このセンサは教育で使用するために設計されています。産業、医療または商用で用いるデータや法律準拠のためのデータの測定には使用しないでください。

製品仕様等 ※製品仕様は改良などのため変更される場合があります。ご了承ください。

各部名称



製品仕様

【構成内容】

- Go Direct 力/加速度センサ GDX-FOR
- フック 1 個
- ゴムダンパー 1 個
- 固定用ねじ (1/4 インチネジ)
- 固定用金属棒 (1/4 インチネジ、 $\Phi 9.4 \times 136\text{mm}$)
- micro USB ケーブル 1 本
- 取扱説明書 (1 部)

【センサ仕様】

大きさ・質量		76×57×33mm、約 85g（付属品を除く）	
センサ	力	最小表示	0.01N
		測定範囲	±50N
	加速度	最小表示	0.01m/s ²
		測定範囲	±156.8 m/s ²
	角速度	最小表示	0.01rad/s
		測定範囲	±34.9rad/s
接続	Bluetooth v4.2、USB 2.0 フルスピード		
バッテリー	USB ポート経由充電式 連続 10 時間駆動		

センサの種類

力/加速度センサには、3つの内蔵センサがあります。

・力 ・加速度 ・角速度

●力

押す力、引く力を測定ができます。押す力を測定する際は、付属のゴムダンパーを取り付けると便利です。引く力を測定するときは、フックを取り付けると便利に測定ができます。初期設定では、押す力がマイナス、引く力がプラスに設定されています。

・ 引く力の場合（フック取り付け）



・ 押す力の測定（ゴムダンパー取り付け）



【ゼロ化・逆（符号の反転）】（ソフトウェア上の操作）

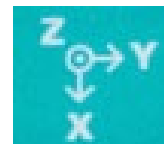
力センサはソフトウェアよりゼロ点の調整ができます。

また、「逆」を選択すると、押す力をプラス、引く力をマイナスに設定を変更できます。



●加速度

X,Y,Z の 3 軸の加速度を測定します。上面に書かれた矢印図の移動方向が 3 軸それぞれの正の方向になっています。各加速度の方向を個別に測定することができます。Z 軸は図に対して手前方向が正となります。



●角速度

X,Y,Z の 3 軸の角速度を測定します。上面に書かれた矢印図に対して、反時計回りに回転している場合、測定値は正になります。

例えば、時計回りに回転している回転台に対して、ラベルを上向きに置いた場合、X,Y 軸の値はゼロに近く、Z 軸の値は負の値を示します。

使い方

操作手順

センサの接続と充電

【はじめて使用する】

十分に充電してから使用してください。付属のケーブルを USB ポートに接続し、コンピュータの USB ポート・セルフパワータイプの USB ハブ・300mA 以上で 5V を出力する USB 充電器などに接続して充電を行います。

充電中 LED はオレンジ色に点灯します。充電が完了すると LED が緑色に変わります。

満充電には通常 2 時間程度の時間がかかります。

【充電仕様】

USB 電源の推奨出力 : 5V、300mA 以上

満充電までにかかる時間 : 約 2 時間

※ 充電ケーブルの脱着時、自動的に電源が入ります。

実験を行わない場合、充電後に保管する際には電源を切ってください。

※ コンピュータに接続して充電する場合、コンピュータの電源が OFF またはスリープモードに入ると、充電されません。

※ リチウムイオン充電電池の特性上、完全放電はしないように注意してください。すぐに充電残量がなくなってしまう場合には充電電池の劣化が考えられます。修理品として工場で充電電池を交換いたします。購入された販売店またはナリカ サポートセンターにお問い合わせください。

【ソフトウェアのインストール】

お使いのパソコン、タブレットまたはスマートフォンに「Graphical Analysis」をインストールします。ソフトウェアの入手方法および操作方法については、別紙の「Graphical Analysis ソフトウェアについて」の説明書を参照してください。

2. 実験時の操作

【電源オン・オフ】

電源を入れるときは、ボタンを1回押してください。電源が入っているときは、赤色 LED が点滅します。
ボタンを3秒以上長押しする、または未接続状態で5分経過すると電源が切れます。

【接続方法】

1. 電源ボタンを1回押してセンサをオンにします。ステータス LED が赤色に点滅します。
2. Graphical Analysis を起動します。
3. 「データ収集」をクリックまたはタップします。
4. 「見つかったワイヤレスデバイス」のリストから Go Direct センサをクリックまたはタップします。
本製品には個体ごとに8桁の識別番号が割り当てられています。コンピュータに接続した際に接続しているセンサをこの識別番号で見分けます。（例：GDX-FOR ○○○○）
5. 接続に成功すると、ステータス LED が緑色に点滅します。
6. 「完了」をクリックまたはタップして、データ収集モードに入ります。

【測定方法】

センサを測定する環境に設置します。

センサと接続したコンピュータ上の Graphical Analysis を操作して測定を行います。

ソフトウェアの操作方法については、Graphical Analysis ソフトウェアの説明書をご参照ください。

3. 実験後の操作

【接続解除の方法】

実験が終わったらセンサアイコン（画面右下）を選択し「切断」を選択します。



4. その他の操作

【他のデバイスやワイヤレスセンサの追加方法】

USB 接続デバイスは自動的に追加されます。

Bluetooth 接続はセンサアイコン（画面右下）を選択し、「見つかったワイヤレスデバイス」のリストから接続したデバイスの「接続」ボタンを選択します。

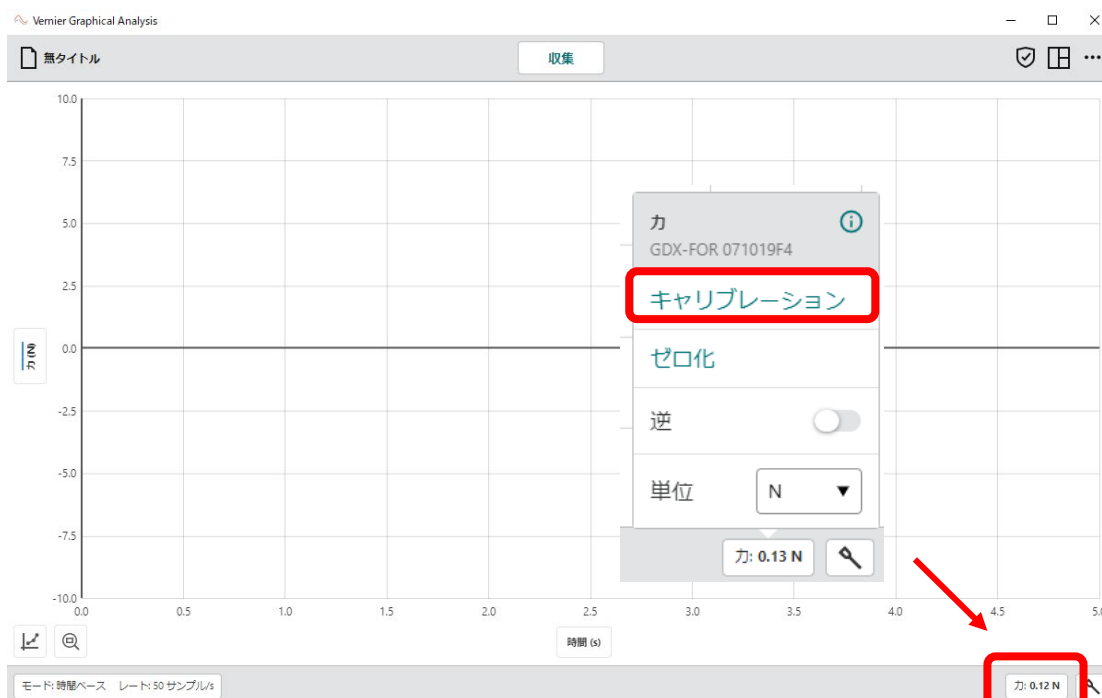
【USB で接続する場合】

USB ポートのあるパソコンなどのデバイスと付属の USB ケーブルで接続します。Graphical Analysis を起動すると自動的に認識されます。

【校正（キャリブレーション）】

センサは通常出荷前に校正されています。加速度、角速度センサは、校正できません。

力センサについて数値が安定しない、値が正しくないなど校正が必要な場合は、ソフトウェアより校正をしてください。力を加えない場合と既知の力を加えた場合の2点校正を使用してください。フックに質量 1kg の錘をつるすことをお勧めします。校正中は、50 N 以上の力が加わることをないようにしてください。



キャリブレーション 力
×

実行 2点キャリブレーション ▼

最初の既知の値を入力: N キーブ

相対的安定の読み取り: 4811

2番目の既知の値を入力: N キーブ

工場出荷時キャリブレーションを使用 2020/8/11

キャンセル
適用

5. 保管方法

センサを長時間保管するには、ボタンを 3 秒以上長押しして電源オフにしてください。電源をオフにするとステータス LED の赤い点滅がとまります。電源がオフの時もバッテリーは放電しますが、破損することはありません。数時間の充電で再度使用可能な状態になります。

35℃以上の温度にさらすと、バッテリーの寿命が短くなります。なるべく、極端な温度にならない場所に保管してください。

困ったとき

故障かな？と思ったら

現象	対処方法
Bluetooth 接続が切断され、再接続できない	1. Graphical Analysis ソフトウェアを一度閉じ、再度開いて接続し直してください。 2. ソフトウェアを閉じ、センサの電源を一度切って再度電源を入れてください。その後、ソフトウェアを開き、再度接続してください。 3. センサと PC を手動で直接ペアリングした場合、接続エラーがでる可能性があります。PC とのペアリングを解除し、ソフトウェア上で Bluetooth 接続をしてください。 4. センサの充電状況を確認してください。充電が不足している場合エラーがでる可能性があります。
力センサの値が安定しない 正しく表示されない	P7 の手順に沿って校正（キャリブレーション）を行ってください。

※ 上記対処を行っても問題が解決しない場合には、ナリカ サポートセンターまでご連絡ください。

以下の情報をご用意いただくとよりスムーズに問題解決策をご提示できます。

- ・使用しているコンピュータの OS の種類とバージョン
- ・ソフトウェアのバージョン
- ・発生している現象